

事務事業名	〈H25拡充〉地域エネルギー活用プロジェクト推進事業		所属部局	総合政策部	単位番号	2012- 900018				
	□ 実施計画事業		所属課室	地球温暖化対策室	課長名	深澤 安丸				
			所属担当	自然エネルギー推進担当	担当者名	今沢 静子				
基本政策	基本計画	IV 快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
政策	19	自然環境の保全と活用	事業区分	01	一般	04	01	05	090	19
施策	32	自然と共生する地域づくり		<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業					
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度)	<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (平成25 ~ 26 年度)		法令根拠	なし					
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載			事業費の主な内訳 (25年度 決算見込)						
	家庭での省エネ行動によって、削減した電気等の使用量を温室効果ガス(CO2)に換算し、その削減量に応じたポイントを商品券等と交換できる仕組みで、手軽なエコ活動を実施することで、温暖化対策の促進を図る。			項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)			
				消耗品費	257					
			印刷製本費	105						
			手数料	315						
			委託料	399						
			使用料	126	計	1,202				

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	25年度活動実績	7月～9月の夏季期間と12月～2月の冬季間を実施する。広報に掲載し参加者を募る。	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
	26年度活動予定	7月～9月の夏季期間と12月～2月の冬季間を実施する。広報に掲載し参加者を募る。			ア参加者募集の啓発活動	回
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	市民 市内の世帯		⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	名称	単位
					ア人口	人
					イ世帯数	世帯
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	参加した市民が節電に対し意識をもつことで、省エネルギー対策や温暖化対策の促進を図る。		⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
					ア参加者数	件
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	Co2排出量が減り温暖化対策が推進される		⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
					アCO2の削減	t

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	最終	年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)	
		国庫支出金	千円								
		県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円			1,202	1,339				
		一般財源	千円								
		事業費計(A)	千円	0	0	1,202	1,339	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人			1	1				
		延べ業務時間	時間			480	480				
		人件費計(B)	千円	0	0	2,184	2,184	0	0	0	0
		(A)+(B)	千円	0	0	3,386	3,523	0	0	0	0
	活動指標	ア回				3.0	3.0				
	対象指標	イ人				74,000.0	74,000.0				
		ウ世帯				25,700.0	25,700.0				
	成果指標	ア件				240.0	240.0				
		イ									
	上位成果指標	アt				2.6	2.6				
		イ									

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成24年度に環境省の補助事業により、カルビー(株)、三菱UFJリース(株)とで、南アルプス市低炭素化推進協議会を設置し、冬季3ヶ月間を実施した。広報11月号や市内のイベント等で参加者を募り90世帯が参加し節電
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	東日本大震災以降、エネルギーの重要性や節電に対する意識は、向上していると感じられる。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	参加した市民からアンケートの提出をお願いしている。これらの結果から家族で楽しみながら節電に取り組んだ。次回も参加したい等の報告を受けている。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	参加市民は、夏と冬の1年間を実施することで、家族で省エネルギーへの意識の向上が見込まれる。このため、より多くの市民に実践してもらうことが重要である。
③ H 25年度に実施した改革改善の内容	広報への掲載や、市内の図書館などに、ポスターを掲示。また、申し込み時期に開催される市内のイベント等に参加して、新規参加者を募った。

事務事業名	《H25拡充》地域エネルギー活用プロジェクト推進事業	所属部	総合政策部	所属課	地球温暖化対策室
-------	----------------------------	-----	-------	-----	----------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 省エネルギー推進は、「環境基本計画」において重点プロジェクトに掲げており、総合計画に示された将来像を環境の面から実現しようとするもので、市の環境行政の最上位計画と位置づけられている。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 この事業の財源は、CO2排出権収入と余剰電力売り上げ金からの特財としている 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 市民にエネルギーの重要性を周知してもらうため、できる範囲での省エネルギーの推進を図るため今後も継続していくことが必要である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 参加世帯の増加により電気使用量の仕組みを理解することで、環境意識の向上、省エネルギーの推進を図る。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 休止・廃止した場合は、温暖化防止対策の進展は望めない。温暖化対策は国を挙げての課題であり、市として取り組む課題である。 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 休止・廃止した場合も、苦情などはないと思うが、温暖化に関する意識の低下は免れない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 必要最低限の予算で実施しているため削減の余地はない。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 必要最低限の職員で実施しており削減の余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 省エネルギーを推進する事業であり、全世帯を対象としているため公平公正である

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	市民に参加を呼びかけでも、面倒だと思われがちであり、なかなか理解してもらえないことが多い。参加者のアンケートでは、次回も参加したい。電気の仕組みがわかって参加してよかった等の回答も多いため多くの市民に実践してもらえることを考えていかなければならない。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果 平成25年度																					
	成果優先度評価結果 ⑪																					
	コスト削減優先度評価結果 ⑥																					